

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、この4月から第40期として活動しております。これもひとえに、皆様方の温かいご支援ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

さてこの度、恒例の「アストロデザインプライベートショー 2015」を来る6月18日(木)、19日(金)東京会場、7月16日(木)、17日(金)大阪会場にて、開催することとなりました。

今回は「8K試験放送を見据え」をテーマに、8K映像技術のリーディングサプライヤーとして各コア技術をいかした新製品、新技術を広くご紹介すると共に、アストロデザインの40年の進化をご体感いただく展示も用意しております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、ぜひご来場賜りますようお願い申し上げます。

敬具

アストロデザイン株式会社

東京会場

入場無料

日時 2015年6月18日(木)・19日(金)
10:00~17:30

会場 アストロデザイン 本社ビル
大田区南雪谷1-5-2

会場までのアクセス

東急池上線
「雪が谷大塚」駅
雪谷大塚町・東玉川方面
出口から徒歩2分



ご来場には最寄りの公共交通機関をご利用ください。

大阪会場

入場無料

日時 2015年7月16日(木) 10:30~17:30
7月17日(金) 10:30~17:00

会場 クリエイティブネットワークセンター大阪メビック扇町
大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F

会場までのアクセス

地下鉄堺筋線「扇町」駅
2号出口すぐ
JR環状線「天満」駅
西へ徒歩約3分



ご来場には最寄りの公共交通機関をご利用ください。

セミナーのご案内 (定員50名 *当社Web事前申込)

セミナー申し込みは当社Webから www.astrodesign.co.jp

■ 東京会場 6月18日(木)・19日(金) ■ 大阪会場 7月16日(木)・17日(金)

セミナー A 10:40~11:20 14:20~15:00	「最新8K規格の動向とアストロデザイン製品のロードマップ」 ITU-R, ARIB, SMPTEなどで策定された最新8K規格の概略を解説し、それらに準拠するアストロデザイン製品のロードマップを紹介いたします。	講師: 技師長 塚本 拓
セミナー B 11:30~12:00 15:10~15:40	「アストロデザインが提案する実践的8Kワークフロー」 撮影から完パケまでの8K制作、その前半部分である撮影、収録、データ管理、保存、転送について、アストロデザイン製品群で構成するフローを、QCDの観点で解説します。	講師: 事業戦略室 金村 達宣
セミナー C 13:30~14:00	「次世代多重化方式“MMT”の概要と当社の取組み」 4K/8K衛星放送の多重化方式として採用された新規格「MMT」の紹介と当社の取組みを紹介いたします。	講師: 技術部長 永野 孝明

事前登録のお願い

事前登録は当社Webから www.astrodesign.co.jp

お客様のご来場時にスムーズな対応とご案内をさせていただくため、事前登録をお願い申し上げます。

8K/4K

2020年の東京オリンピックでの8Kと4K放送に向けて、急ピッチで8K/4K機器の整備が進んでいます。その中で、8K/4Kのパイオニアであるアストロデザインは8K/4Kの様々なソリューションを提供いたします。
新しい演出と撮影の可能性を無限に広げる超小型8Kカメラヘッドを始めとして、長期間のロケでの長時間の収録と機動性を両立した小型8K圧縮レコーダ、長時間の撮影をサポートする8Kバックアップ装置を展示いたします。その他、8K/4Kの各種コンバータ、8K液晶モニターも展示いたします。

信号発生器/プロトコルアナライザ

映像伝送規格「HDMI」の最新VerであるHDMI 2.0aに最新の著作権保護技術である HDCP 2.2を付加できるデジタルビデオ信号発生器 VG-876の展示をいたします。コンテンツはITE 一般社団法人映像情報メディア学会・一般社団法人電波産業会著作の超高精細・広色域標準画像を搭載し、最新のテレビ放送システムの性能・画質評価デモを実施します。
さらにHDMI 2.0やHDCP 2.2のコンプライアンステスト機能を搭載した4K対応プロトコルアナライザ VA-1842の実演デモを行います。

8K撮影

8Kライブカメラシステム、8Kロケをイメージしたカメラ、またレコーダ、ビューファインダなど周辺機材を多数展示。実際に8Kの迫力のある映像を実機でご確認いただけます。

撮影支援

5インチの小型HDモニターやOLEDを搭載したEVFを展示します。
EVFは、フルHD解像度OLEDを採用し、4K/8Kといった高精細映像の撮影に最適です。インターフェースはHD-SDIとHDMIに対応し、ピーキングや拡大表示などのフォーカスアシストも充実しています。

字幕監視

主に聴覚に障害のある方やテレビの音が聞こえにくくなった方々が放送を楽しんで頂けるような、CM、番組の制作にテレビ局が力を入れています。その流れに合わせ2015年4月から日本民間放送連盟が「字幕付きCM素材搬入暫定基準」の適用を開始しました。弊社の字幕モニターとラスタライザは民放連の基準に沿った字幕付きCMチェックができますので、字幕付きCMを安全・確実に放送できるお手伝いをいたします。

ラウドネス

7インチのパネルを搭載した卓上型、1Uサイズのモデルなど、多彩な機能・拡張性で、編集・MA・中継車など、ラウドネス導入・運用を強気にサポートします。

波形/インターフェースコンバータ

波形モニターやプロ用機器と民生機器をつなぐインターフェースコンバータを展示します。需要の高まりつつあるHDRやITU-R BT.2020にも対応し、4Kの監視や開発に力を発揮します。

画像切り出し

高精細の4K映像から任意のHD画像を低遅延での切り出しのほか、回転機能やブレ補正機能も搭載し、イベントやスポーツの中継に最適です。

映像制作

DSK (ダウンストリームキーヤ) 及びUSK (アップストリームキーヤ) の機能を持ったインサータ。インターフェースは3G-SDI、ライン入力2系統、スーパー (フィル、キー) 入力8系統を搭載。1Uサイズとコンパクトで、二重化電源で堅牢性も抜群。4Kにも対応可能です。

マルチメディアスキャンコンバータ/デジタルスイッチャ

新製品 MC-2085 は、シリーズ10代目となるマルチメディアスキャンコンバータで、4K×2面分をリアルタイム処理できる超高解像度に対応。VIDEO WALLの映像表現を自在に操ることが可能です。
また、新機能として、デジタルスイッチャ MI-2100がDualGreen入力に対応。BNC×16本のDG信号を、3G-SDI×16またはDVI×16 (共に1080p) に変換することが可能です。

伝送ソリューション

テレビ放送では、映像音声を圧縮・多重して伝送されています。その多重化技術として、地上・BSデジタル放送ではMPEG-2 TSを使用しています。8K/4K放送向けにはMMT (MPEG Media Transport) という多重化方式が検討されています。これらの規格対応のプレーヤーやアナライザなどの展示を行います。

下記展示会にも参加いたします。(出展製品については、事前にお問い合わせください。)

東北地区

東北映像機器フェスティバル 2015

会期:6月3日(水)・4日(木)

会場:仙台サンプラザホール

九州地区

九州放送機器展 2015

会期:7月2日(木)・3日(金)

会場:福岡国際センター